

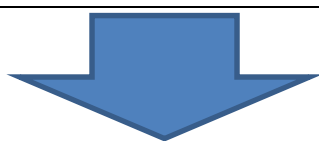
令和3年度 授業改善推進プラン

台東区立台東育英小学校

○ 第2学年

1 児童・生徒の状況及び実態

- ・新出漢字が増え、画数も多くなったために習得や定着が不十分な児童がいる。文章の構成を捉え、大体的内容を理解したり、登場人物の気持ちを想像したりすることは概ねできているが、自分の考えを発表することに苦手意識をもつ児童がいる。(国語)
- ・時刻の読み取りはできているが、時間の計算が苦手な児童がいる。計算の仕方や数の仕組みについての知識はあるが、考え方について説明することに苦手意識をもつ児童がいる。(算数)



2 指導についての課題

【知識及び技能】

- ・新出漢字として学習する際、読み書きの指導はできているが、筆順等については指導が不十分である。(国語)
- ・計算問題の反復練習に重点を置いていたため、他の領域の積み重ねが計算に比べて少ない。(算数)

【思考力、判断力、表現力等】

- ・一単位時間の授業の中で、全員が発表するという機会を週1回以上設定できていない。(全教科)

【学びに向かう力、人間性等】

- ・与えられた課題に対して、自分なりの考えをもとうとし、興味深く友達の考えを聞く姿勢がもてるような授業展開の工夫が不十分である。(全教科)



3 授業改善に向けての具体的な方策

【知識・技能】

- ・ICT機器を活用し、漢字を拡大して形を捉え、筆順を動画で見ることで視覚的に理解できるようにする。(国語)
- ・「あと何分」「何時まで」等、時計を見る機会を増やししながら、時間の計算を生活場面と結び付けた学習内容にしていく。(算数)

【思考・判断・表現】

- ・自分の考えが相手に伝わるように、話型を示したり全員が発表したりする等、交流の機会を増やす。(全教科)

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・学習課題を自分たちで立てる活動を取り入れ、子供たちが興味をもって楽しく学習に参加できるような授業を構築する。(国語・算数)
- ・生活場面と関連付けたり、操作活動や発表ボードを活用したりして学習意欲をさらに高める。(算数)